

## 「広報あしやの満足度」に関する調査結果

### 【第3回アンケート】

本アンケートは、「広報あしや」の利便性向上を目的として、実施しました。

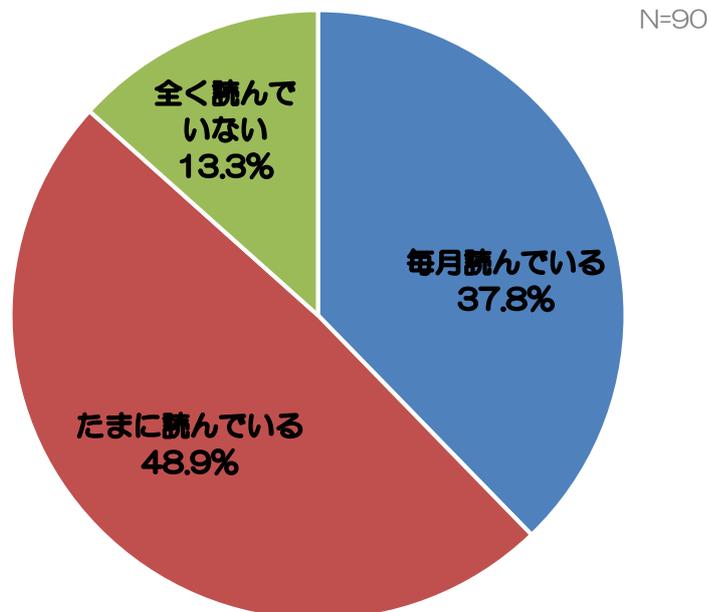
ご回答いただいたモニターの皆様、ご協力ありがとうございました。

- 調査期間 令和8年1月9日から1月22日まで
- 設問数 11問
- 有効回答率 90.0% (対象者数100人 有効回答者数90人)
- 有効回答者の構成割合 男性：50.0%、女性：50.0%  
(18~20歳代18.9%、30歳代20.0%、40歳代21.1%、50歳代18.9%、60歳代以上21.1%)

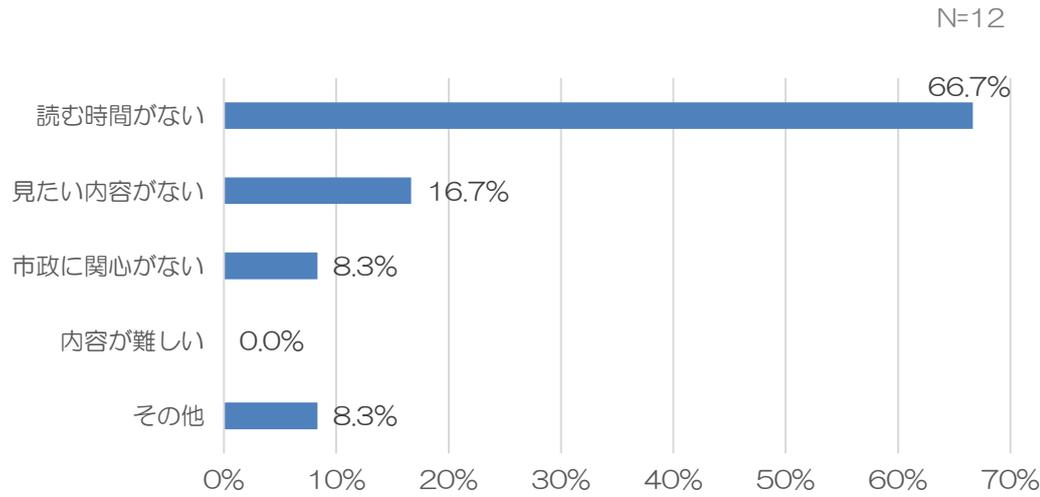
※図表中のN値は、分類別回答者数を表します。  
※複数回答の設問(MA)は、回答比率が100%を超えます。

### 【アンケート結果】

問1 「広報あしや」を読んでいますか。

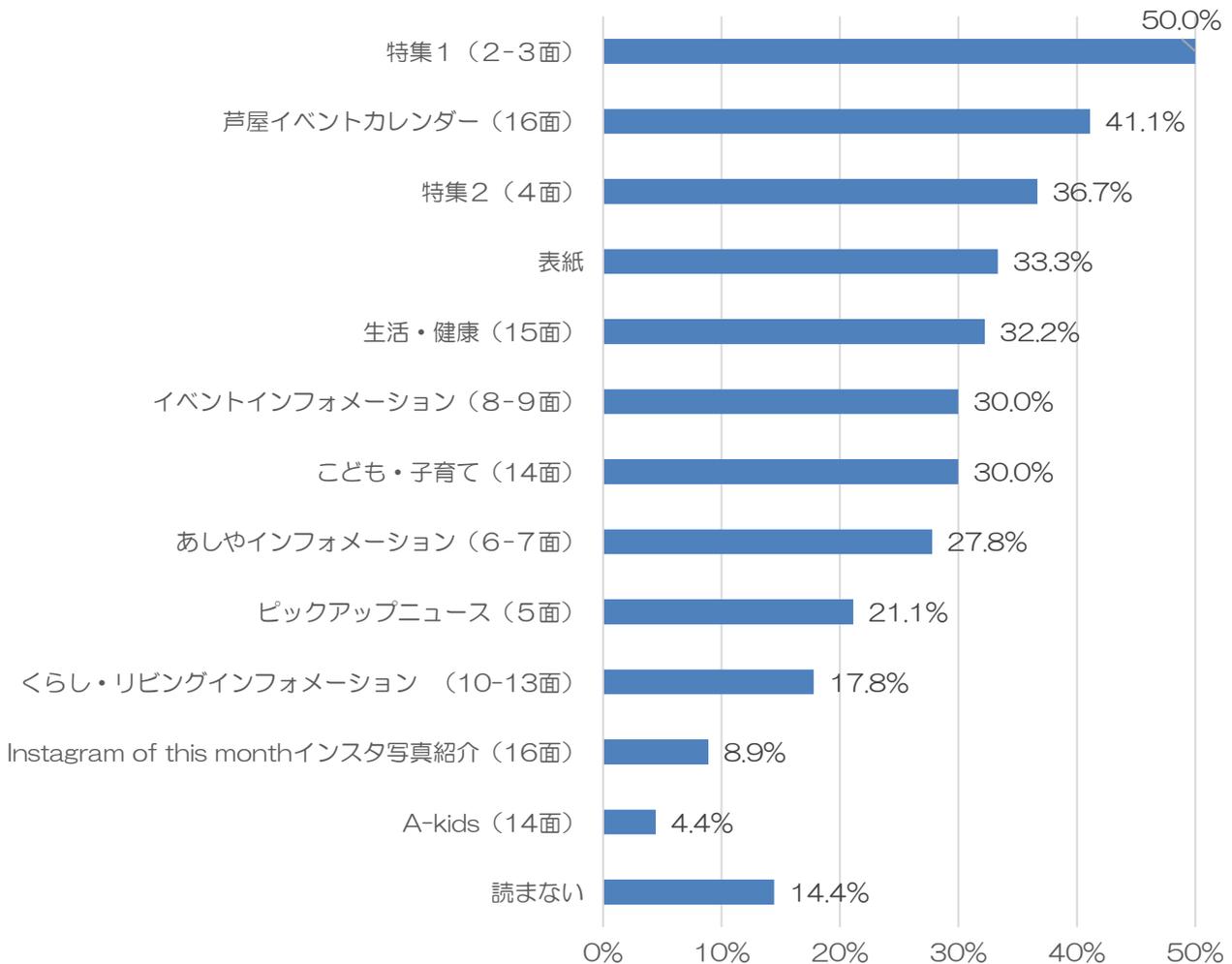


問2 「全く読んでいない」と回答した方にお聞きします。「広報あしや」を読んでいない理由を教えてください。



年代	その他
40代	そのうち読もうと思って置いているうちに時間が過ぎる。

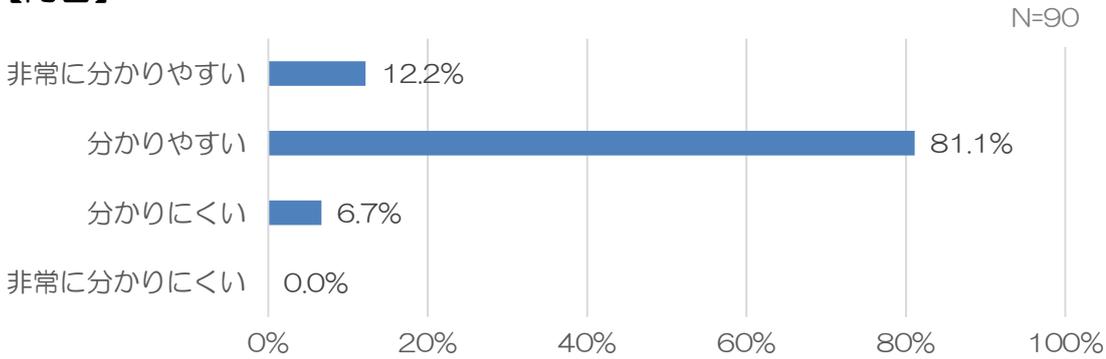
問3 「広報あしや」でよく読むページはどこですか。(MA)



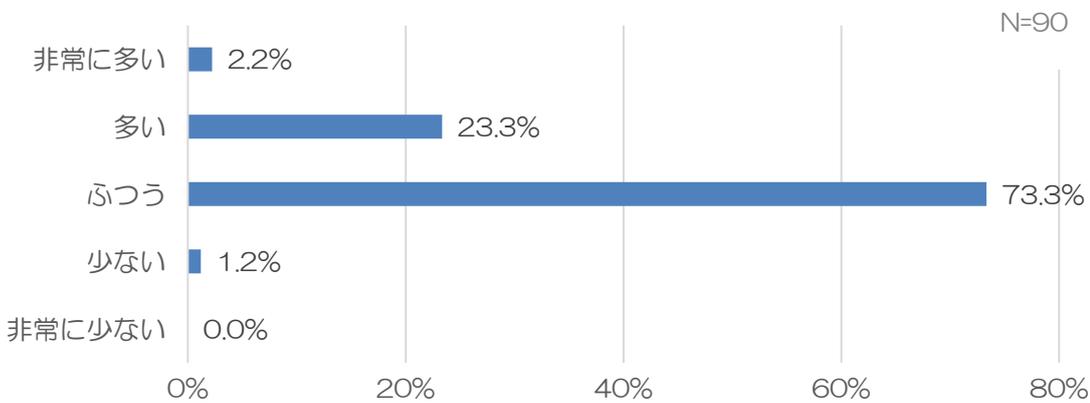
**問4 広報あしやについて当てはまるものを選択してください。**

なお、広報あしやを読んでいない方はホームページをご参照ください。

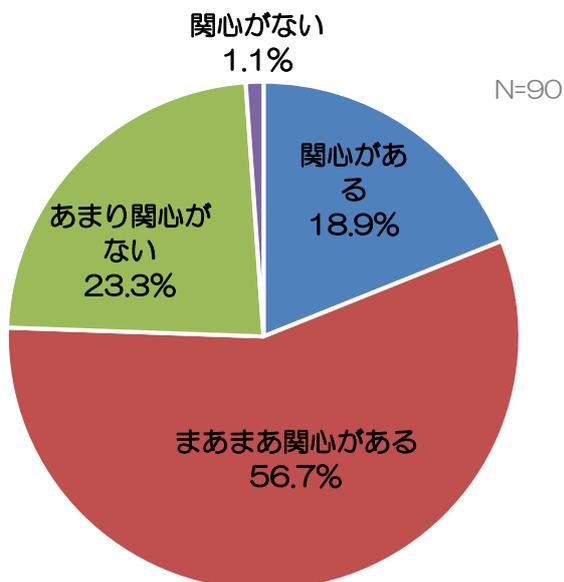
**【内容】**



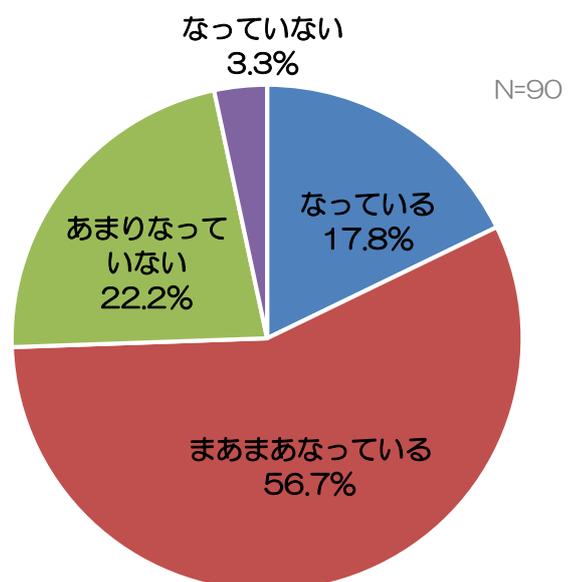
**【情報量】**



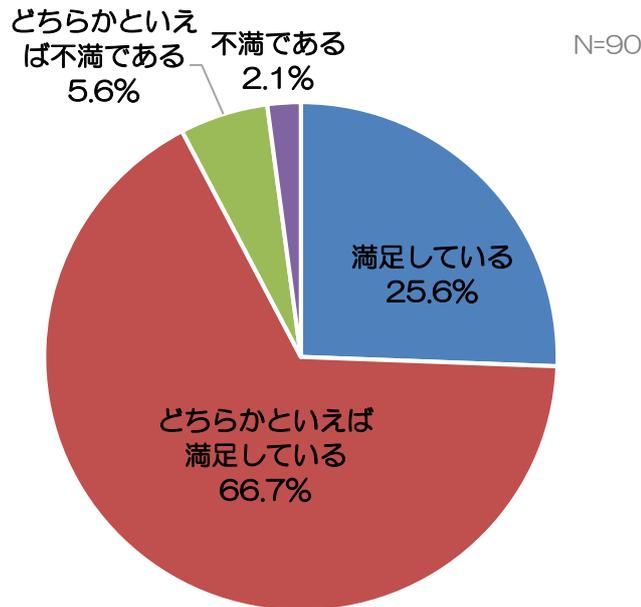
**【掲載内容について関心や興味】**



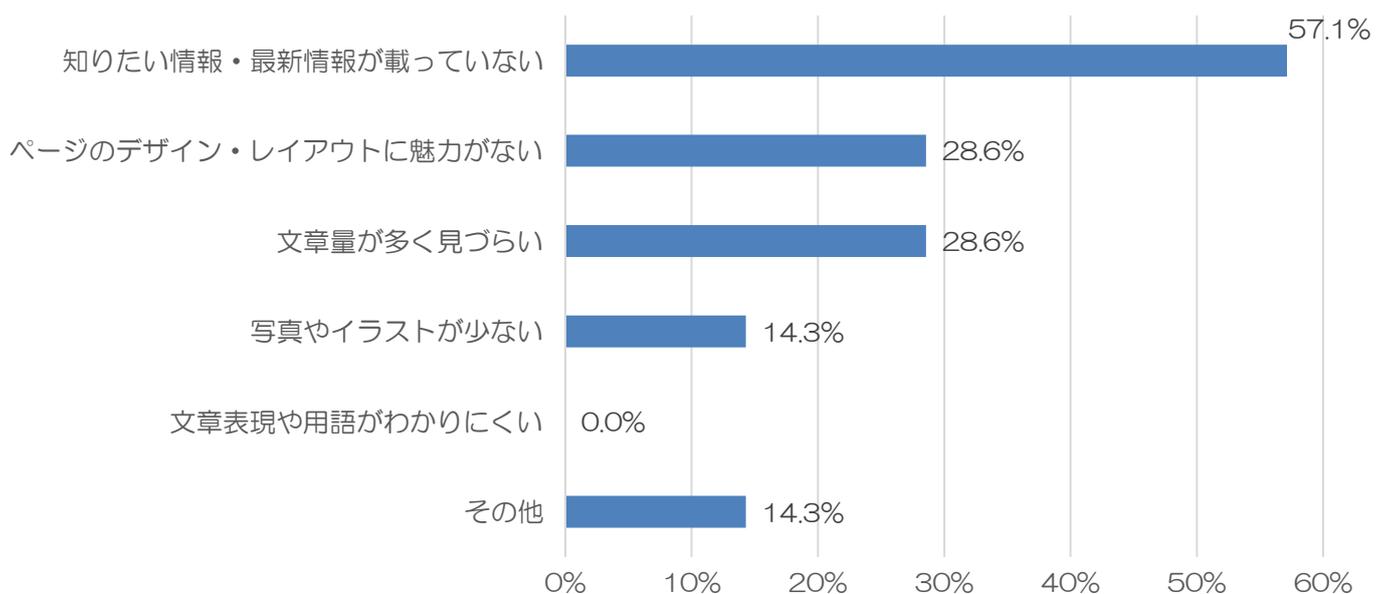
**【日常生活の参考になっていますか】**



問5 「広報あしや」に満足していますか。

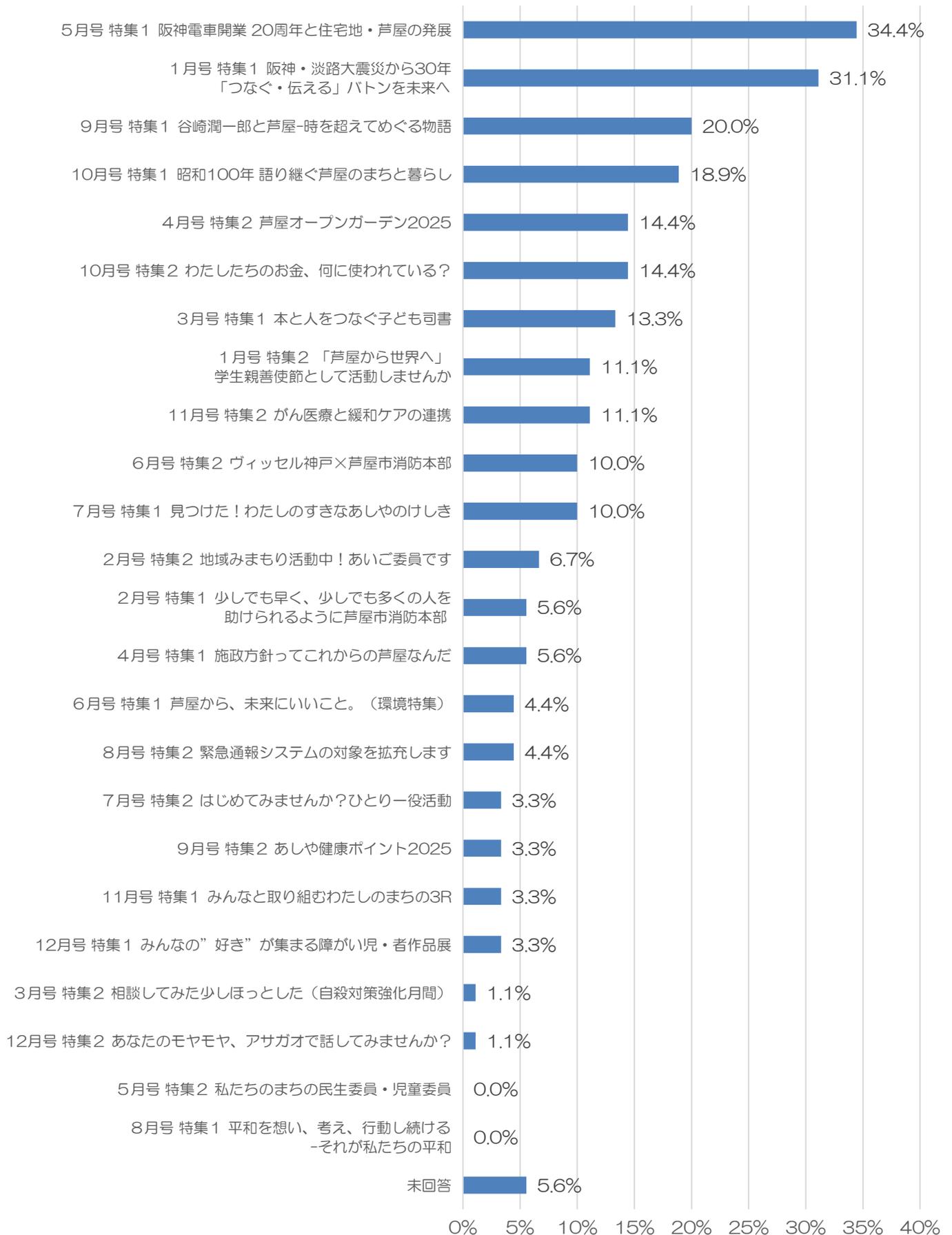


問6 「どちらかといえば不満である」「不満である」と回答した方にお聞きします。不満と感じるのはどのような理由からですか。(MA)  
(あてはまるものを最大3つまで選択してください)



年代	その他
50代	インターネット環境を意識して広報を見せていただけたら読んだり見たりが楽。拡大したり、音声で媒体に読ませたら別作業中も聞くことができる。

令和7年1月～12月号の特集記事のなかで、印象に残っているものを3つ選んでください。(MA)



特に印象に残っている号とその理由があれば記載してください。

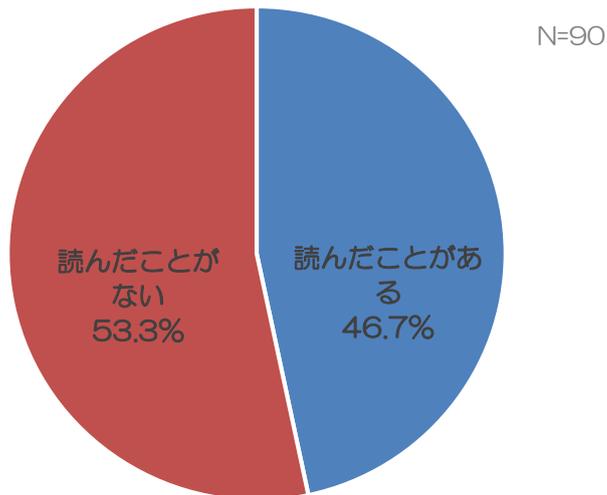
年代	その他
20代	(10月号 特集2 わたしたちのお金、何に使われている?、11月号 特集2 がん医療と緩和ケアの連携) 若者の私にも興味のある内容だったから(税金、病等)
20代	(1月号 特集1 阪神・淡路大震災から30年「つなぐ・伝える」バトンを未来へ) 阪神淡路大震災は、風化させてはならない出来事だと考えているから。
40代	(4月号 特集1 施政方針ってこれからの芦屋なんだ) 4月号に高島市長の施政方針が記載されていた。
40代	(1月号 特集1 阪神・淡路大震災から30年「つなぐ・伝える」バトンを未来へ、3月号 特集1 本と人をつなぐ子ども司書) 子育て中なので、子どもが興味を持ちそうな情報に目がいきます。
50代	(9月号 特集1 谷崎潤一郎と芦屋-時を超えてめぐる物語) 記念館に伺ったので目に入った。
50代	(5月号 特集1 阪神電車開業 120周年と住宅地・芦屋の発展) 歴史を感じる記事がとても印象に残っています。当時と今の街の様子を見比べることができ、とても興味深く拝見しました。
50代	お祭りは楽しかった。
50代	(5月号 特集1 阪神電車開業 120周年と住宅地・芦屋の発展) 5月号の特集1 阪神電車開業 120周年と芦屋市の発展は、初めて見る昔の写真や今も使われている橋脚やホームの石積みなど興味のある内容で知らない事も多く掲載されていて良かったです。開業当初はまだ川の上にホームがなかった事も今となっては驚きです。
50代	(2月号 特集2 地域みまもり活動中! あいご委員です、7月号 特集2 はじめてみませんか?ひとり一役活動、10月号 特集2 わたしたちのお金、何に使われている?) 自分が所属している活動や日々の生活に直接関係する記事は印象が深い。
60代	(9月号 特集1 谷崎潤一郎と芦屋-時を超えてめぐる物語) 地元での歴史が感じられる。
60代	(10月号 特集1 昭和100年 語り継ぐ芦屋のまちと暮らし) 10月号芦屋の昔を知ることができた。
60代	(7月号 特集1 見つけた! わたしのすきなあしやのけしき) わたしのすきな芦屋のけしきは良かったです。引っ越しして来た者にとって知らない芦屋を知れて行ってみたいと思いました。
70代	(12月号 特集2 あなたのモヤモヤ、アサガオで話してみませんか?) 12月号の抱えているモヤモヤを話すという事がとても印象に残っています。
70代	(5月号 特集1 阪神電車開業 120周年と住宅地・芦屋の発展) 5月号阪神電車開業 120周年と住宅地・芦屋の発展。5年前に神奈川県から芦屋市に来ましたのでまだまだ歴史について知らないことがあり、この記事はとても興味深かった。

## こども・子育てのページ（14面）の学校給食の連載について

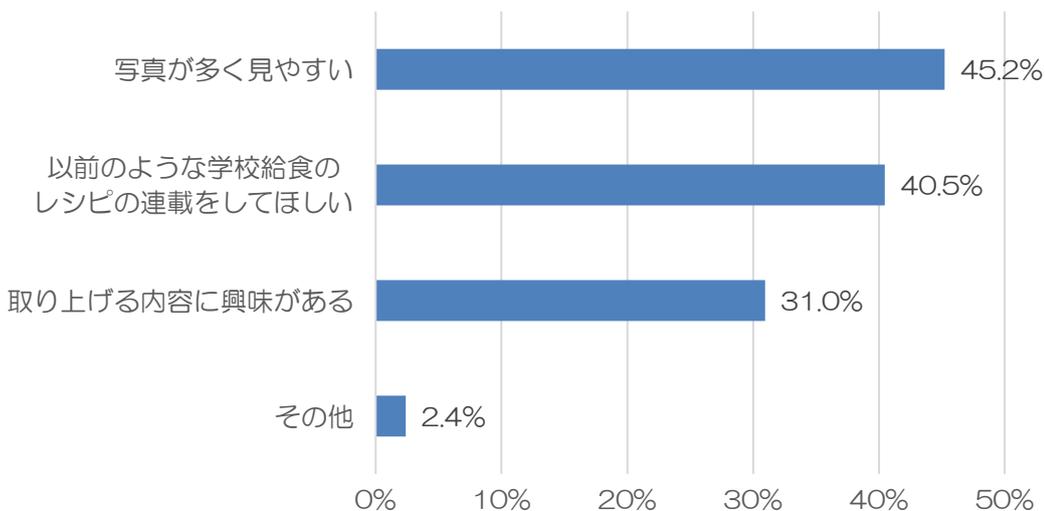
### 芦屋市の学校給食

市立全小中学校では手作りにこだわった、自校調理方式に加え、各校1名の栄養士配置による各校オリジナル献立の作成など、安全安心でおいしい給食を提供しています。これらの取組は「給食甲子園」入賞など全国的にも評価が高く本市を代表する魅力の1つで、広報あしやにおいても市民の皆さまにこの魅力をお届けできるよう毎月情報を発信しているところです。

問7 学校給食の連載を読んだことがありますか。

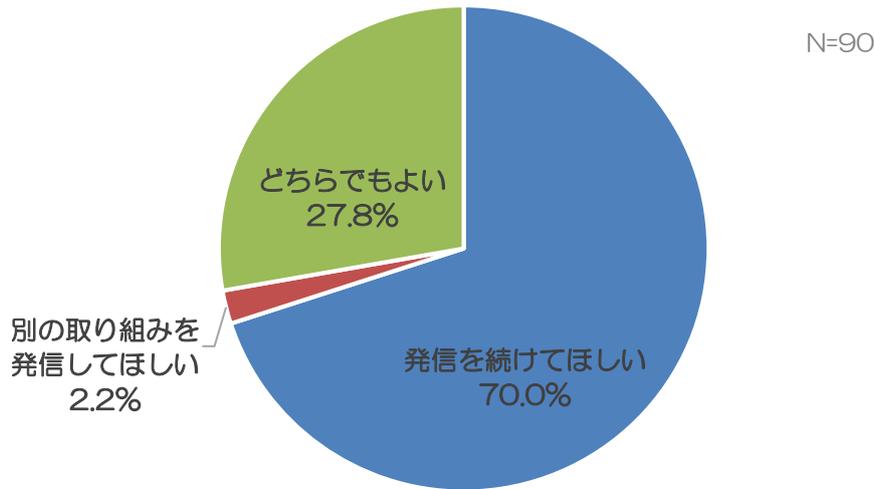


問8 令和7年4月号から開始した学校給食の連載「いただきますのまえとあと」の印象を教えてください。(MA)

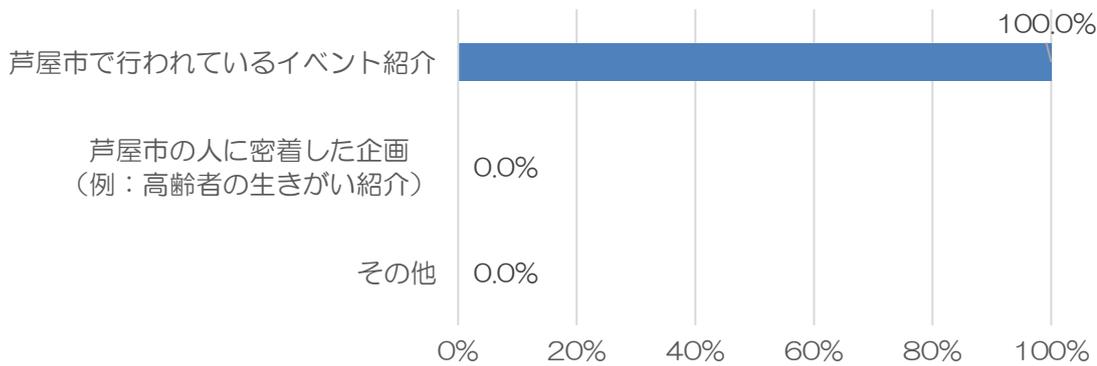


年代	その他
40代	普段見ることのない給食の献立を知れる。

問9 広報紙で学校給食について発信することについてどう思いますか。



問10 「別の取り組みを発信してほしい」と回答した方にお聞きします。学校給食に代わり発信してほしいと思う内容を選んでください。(MA)



問11 その他ご意見があればお聞かせください。(自由記述)

年代	ご意見
10代	市政の詳細などについても広報紙で知ることができたらいいなと思います。
20代	読んだことがなかったが、これを機に読んでみて暮らしに役立つようなことが書かれていたり、取り組みが書かれていて良いと思った。
20代	(学校給食について発信を続けてほしいのは、) 芦屋の学校給食で育ったため、非常に思い入れがあるため。また、芦屋の特徴として大事にアピールして欲しいから。また、私の周りだけかもしれないが、学校給食で多種多様の食べ物を食べ慣れているおかげで 食に対する食わず嫌いがほとんどなく、他国の料理や珍味に積極的に挑戦できるようになっていると思う。(←非常に楽しい)また、栄養バランスについての知識も小学生の時に知ってよかったと思っている。特に、どの栄養素が不足しているとどんな味のものが食べたくなるのか についての知識は生きている間ずっと活用できるため、感謝している。
20代	いつも芦屋市の発展のため尽力していただきありがとうございます。

年代	ご意見
30代	季節やいろんな国の料理を取り入れた学校給食は家庭でもコミュニケーションの一つとなっている。広報紙で取り上げることで子育て世代だけでなく高齢の方へも知らせることができる。
30代	忙しくてあまり読んでいませんが、子どもがもうすぐ小学生なので、給食のほうがいいと思いました！たまに読むとおもしろいです。
30代	高島市長のSNSをよく拝見しており、共感や知識を得ています。SNS世代ではない方、こちらの紙面をよく見る方向けへの高島市長の発信・意見コーナー等が連載のように見えやすく分かりやすく掲載されていればと思います。
40代	子どもたちに人気がある給食レシピが知りたいです。
40代	今後も自校調理方式続けていただきたいです。
40代	学校給食については、現在我が子もお世話になっていて関心があります。また、昨今物価上昇に伴って値上げが繰り返される中、無償化や質の維持について様々な意見があり、注目すべき案件だと思っています。現状を知らずに議論をすることは難しいので、今、直接給食に関わりがあるかないかに関わらず、市民全体に伝えることは大切だと感じます。
40代	良い意味で芦屋市の規模だからできる身近な広報紙だと思っています。これからも市民の関心に寄り添った情報発信を期待しています。
40代	芦屋の住宅についての記事も掲載してほしい。また、芦屋の安全の取り組みについてや、障がいのある児童や大人の地域での共生について。
50代	給食のメニューが気になる。
50代	インスタの写真が小さく感じるので、限りある紙面とは思いますがもう少し大きく掲載されたら良いかと思いました。
50代	学校給食についてのアンケートがあったが、給食だけでなく、芦屋市の小中学校、高校大学などの活動や市のイベントと関連する取り組みなど、一般市民が芦屋の子どもたちの様子に触れる記事があったりしても良いのかなと思った。市の広報、カラーも写真も多く見やすいし、子どもたちも読んだりしているのかなと気になった。
50代	私は三条小学校2期生です。創立当初から栄養士の先生がおられました。毎日美味しい給食をいただいております。娘は山手小学校を卒業しています。芦屋の給食は子どものことを思ってください愛情を感じます。自校調理方式は自慢であり誇りに思います。
50代	子どもが小学生の時、芦屋市の給食をととても楽しみにしていました。全国で給食無償化が現実化へ向かう中、質を大事にした芦屋市の取り組みはとても大切だと思いますので、今後とも芦屋市の給食の発信を続けていってほしいと思います。良い街に住めた実感があります。
60代	我が子が小学生の時に給食の話をよくしていたので、興味深く読んでいます。私の料理の参考にもさせてもらっています。2人の息子の結婚式で小さい頃のエピソードで2人とも小学校の学校給食の話題をさせてもらいました。その時、その場の空気がほっこりしたように私は感じました。
60代	私が高齢であるため、どちらかというと「芦屋るばーたいむず」の方にも関心が高いですので、こちらの充実もよろしくをお願いします。(→発行元の公益社団法人芦屋市シルバー人材センターに共有済)
60代	いつも楽しみにしています。
60代	このアンケートを機に、もう少し熱心な読者になってみようと思いました。
60代	まちづくり。特に大規模な開発案件や整備案件(例:阪急芦屋川駅前開発等)に関して、今後どうなっていくのかの構想や情報発信をしていただきたい。
70代	芦屋市の学校給食は映画にもなったと聞いております。将来を担う子ども達がどのような食事をいただいているのか興味があります。一般市民も試食できる場所があると嬉しいです。芦屋市民病院で提供されている食事についても入院患者さんからの希望や改善についてアンケートを行っていただきたいです。